

データ収集・蓄積がゴールじゃない！
活用するためのしっかりとした前準備のための
【Excelと事例で学ぶ】

工場の改善・管理に役立つ データの活用術と統計の基礎

～目的に応じたデータ分析のポイント～
【ノートパソコンをご持参ください】

日時 2024年6月19日(水) 10:00~17:00
(9:30 受付開始)

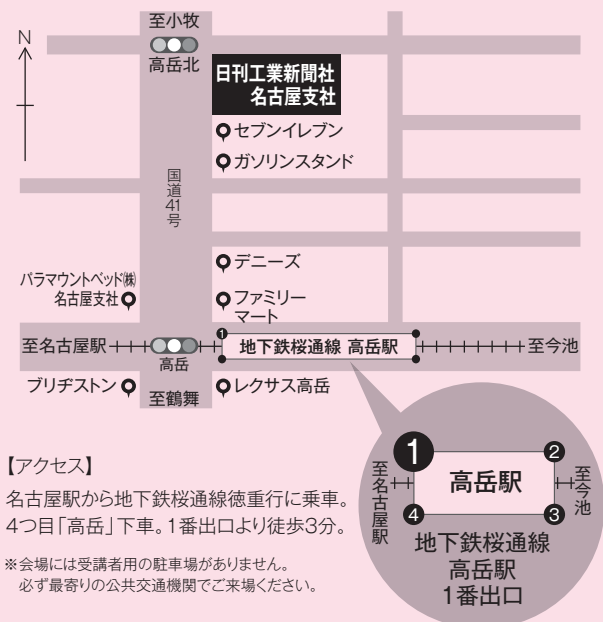
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

6/19 統計の基礎

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247533

開催主旨

ものづくりの現場では、DX（デジタルトランスフォーメーション）などデジタルツールの活用推進が始まり、データ収集が注目されています。しかし、集めたデータを活用し品質改善、コストダウン、在庫低減などの改善や管理に活用するには、データ分析と統計の基礎知識が必要です。集めたデータをどのように分析し活用するかが明確になっていないと、データの山が構築されるだけになってしまうのです。

そこで本セミナーでは、データ分析と活用に必要な統計の基礎から使い方までを座学とExcelによる演習や事例を通じて体系的に習得していただきます。

【本セミナーのポイント】

- ・データの分布状況から業務改善や管理に役立つデータの見方・考え方を解説します。
- ・データの分布状況から現場で活用する勘所やノウハウを伝授します。
- ・技術部門、製造部門、品質管理部門など各部門での統計の活用事例を紹介します。
- ・セミナーで使用するExcelシートは、セミナー終了後自社のデータで活用できます。

【受講対象】

- ・開発・設計、生産技術部門の管理者・担当者
- ・製造部門、生産管理部門、品質管理部門、調達・購買部門の管理者・担当者
- ・情報処理部門、企画部門、マーケティング部門、人事部門の管理者・担当者
- ・デジタル化・DXの導入・推進の管理者・担当者
- ・統計を業務に活用したいと検討されている管理者・担当者

【演習に使用するExcelシートを、事前に配布します】

参加者は、配布ExcelシートをインストールしたPCをご持参ください。

講師

(株)MEマネジメントサービス 代表取締役社長 技術士(経営工学) **小川 正樹 氏**

【略歴】

(株)日本能率協会コンサルティングを経て、現在(株)MEマネジメントサービス代表取締役、マネジメントコンサルタント、技術士(経営工学)。原価計算・原価管理・原価見積・原価企画などに関するシステムの立案、構築、実施やVE・IEや品質工学改善を通じて新製品開発や総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務、公開セミナー、社内教育が活動の中心である。

【おもな著書】

「技術者のための見積原価計算」(共著)「技術者のための原価企画」(共著)「絵でみる原価計算のしくみ」
「高品質・低コスト生産のすべて」(日本能率協会マネジメントセンター)、「実践原価企画」(税務経理協会)、「絵でわかる超入門原価計算」(すばる舎)、「レイアウト改善」(日刊工業新聞社)などがある
<http://www.mejapan.com/>

プログラム

1. スマート工場では統計的な見方が必要

- ・デジタルデータ活用の現状
 - ・データを制する者がビジネスを制する
 - ・データ活用のレベル別に手法を分類する
 - ・データの比較に使う代表値と散布値
- 【Excelで代表値と散布値を計算する】

2. データの分布を視覚化し未来を予測

- ・散布図で対応するデータの関係(相関)を読む
 - ・データの相関を数値化した相関係数とは
 - ・データの分布から未来を予測する回帰分析とは
 - ・複数の要因を扱う重回帰分析とは
 - ・重要な要因を押さえて業務改善に役立てる
- 【Excelで重回帰分析を実践する】

3. データを分けて重要要因を把握

- ・データの活用は分けることから始まる
 - ・データを共通要因と個別要因に分解する
 - ・要因の違いを分解する分散分析とは
 - ・分析結果が正しいかを判定する検定とは
- 【Excelで統計的な間違いを検証する】

4. 部門別のデータ活用事例で成果を実感

- ・技術部門でのデジタルツインを活用した製品設計事例
- ・生産管理部門での基準在庫量の設定と在庫圧縮事例
- ・製造・生産技術部門での設備の最適生産条件設計事例
- ・MTシステムによる外観検査の自動化事例
- ・スマート工場、AIへのアプローチ